

# 令和6年度 岐阜県各市町村教育委員会の特色ある事業一覧表

地区	市町村名	事業名	事業の概要
岐       阜	岐阜市	心の健康サポート ・ココタン・校内フリースペース (2年目)	ICTを活用し心の様子を客観的にとらえられるよう「ココタン」を導入した。また草潤中のノウハウを生かして市内10校に「校内フリースペース」を整備し安心して登校できる環境を創出した。
	羽島市	休日部活動の地域移行 (4年目)	令和6年度、市内すべての中学校区で休日の運動部活動の地域移行が完了。生徒の多様な活動の機会を確保し、スポーツの魅力や楽しさを実感できる環境を整備した。
	各務原市	かかみがはら支援学校 令和7年4月開校	各務原市立かかみがはら支援学校を開校する。小中高一貫校とすることによる切れ目のない指導を実施するとともに、特別支援教育に関する情報発信、指導方法の共有など、特別支援教育のセンター的機能を充実させていく。
	山県市	アトリエ事業	放課後の新しい居場所づくりとして、小学校の空き教室に地域の方を講師に招き、こどもたちの表現力、創造力の育みにつながる体験活動を行った。
	瑞穂市	ICT教育推進事業(プログラミング)	小中学生のプログラミングへの興味関心を高めるため、連携協定を締結している岐阜工業高等専門学校と共同して、夏季休業中に特別授業を実施。今後も継続予定。
	本巣市	本巣市版「幼小架け橋プロジェクト」(2年目)	「幼小接続改革チーム」を組織し、本市の幼小連携の「強み」を生かした交流や幼児教育を踏まえた小学校の授業づくり等に取り組み、架け橋期の教育の在り方の最善解を求めた。
	羽島郡二町 岐南町・笠松町	命を守る力を高める「水泳教室」・「水難事故防止教室」	豊かな自然体験の充実を目指すには、危険回避能力を高める必要があると考え、インストラクタによる泳力向上と消防士による救命を目的とした水泳教室を実施した。
	北方町	学びの多様化学校「オンリー1」で輝く	学習内容を選び、自分のペースで学習ができることを基本方針として特別なカリキュラムを編制し開校した。誰もがかけがえのない存在として安心して登校できる居場所となっている。
西       濃	大垣市	特別支援教育の充実 (特別支援教育推進チームの設置準備)	特別支援教育のさらなる充実を図るため、R7年度に特別支援教育推進チームを設置する。特に、所属を超えた連携を進め、早期からの適切な支援につなげていく。
	海津市	誰一人取り残さない質の高い学びを保障する「学びの改革」	教師主導の授業から児童生徒主体の授業を目指し、仲間と聴き合い学び合うことができる児童生徒を育む学びの改革を進めている。深い学びと温かな人間関係につながっている。
	養老町	園小連携事業(24年目)	保育園・こども園・小学校が連携して、交流会や研修会を開催し、子ども達が幼児教育から小学校教育へとスムーズに適応するための取り組みを実施。
	垂井町	いじめ未然防止プロジェクト	町いじめ等対応支援チーム会議の指定校において、いじめの未然防止に関わるプログラムを開発した。シンキングエラーという新たな観点から指導を工夫、実践している。
	関ヶ原町	わくわくチャレンジせきがはら	星空観察や地元木材を使った工作教室など自然探検や生活探検を通じて、歴史と自然に恵まれた「ふるさと関ヶ原」を知り、誇りを持てる子ども達を育成する。
	神戸町	神戸山王まつりを柱としたふるさと学習(2年目)	各学校で神戸山王まつりを柱としたふるさと学習を実施している。氏子会の協力による神輿担ぎ体験会によって小中学生の関心が高まり、地域の活性化につながった。
	輪之内町	「防災土育講座」 (7年目)	中学2年生を対象にして、災害や防災についての知識や技能を学び、将来、地域等で災害ボランティアとして寄与できる人材を育成している。
	安八町 東安中学校組合	不登校対策 ・ほほえみ教室 ・巡回相談	学校で実施する「心のアンケート」に基づき、子どもの悩みの把握に努めた。ほほえみ相談員が5校を巡回し、不登校傾向を示す児童が早期に相談できる体制づくりを進めた。

地区	市町村名	事業名	事業の概要
西 濃	揖斐川町	地域学習支援支援事業 （「地域学び塾」）3年目	夏休み等に、学習支援を希望する中学生や地理的条件等で学習支援が受けられない中学生を対象に、地元の公民館を会場に教職経験者や大学生等が講師となってサポートする。
	大野町	学校規模適正化 「小中学校のあり方」 （3年目）	令和4年から始まった将来を展望した望ましい学校教育環境のあり方については、7回の協議を経て3つの提言の答申を受け、今年度は基本方針の策定に向けて協議を始めた。
	池田町	池田っ子チャレンジ教室	地域講師の協力のもと、町内の小学生を対象に放課後や休日に安心して過ごす居場所を作り、様々な分野への興味関心を発揚する体験活動を行っている。
美 濃	関市	関市学校教育夢プラン （12年目）	「夢のある明るい学校」のスローガンのもと、児童生徒の可能性を引き出すために、学校教育夢プランとして、5分野24事業を展開している。
	美濃市	地域未来塾（放課後自習室）	放課後に校舎の一室を開放し、「地域未来塾」と名付けて、希望する生徒が自主学習等に取り組む場を提供した。市教委の管理でコーディネーターを配置している。
	郡上市	少年スポーツ推進事業「地域クラブ活動への移行」 （2年目）	学校部活動を地域クラブ活動へ移行する環境を整え、小・中・高・一般が共に活動し、地域の新たなスポーツコミュニティを生み出す取り組みを推進する。
可 茂	美濃加茂市	小規模特認校制度 （8年目）	自然環境の活用や地域住民との交流など特色ある学校運営を行っている少人数の学校に、一定条件のもとで市内の全ての通学区域からの通学を認めている。
	可児市	不登校対策支援 ・市教育支援センター拡充	一人一人に応じた多様な学びの場をつくることで、「教育支援」「自立支援」「メタバース支援」の3つの居場所を拡充し、多様化する子供のニーズに応える。
	坂祝町	コミュニティスクール だいすき！ SAKAHOGI （6年目）	園・学校を核とし、「すべての子どもたちを地域総がかりで育てる」ことを目的とし、2019年4月に坂祝町コミュニティスクールを立ち上げ、6年目を迎えた。
	富加町	ふるさと「とみか」が好きな子を育てる地域学校協働活動	ふるさと「とみか」が好きな子を育てたいという願いを学校、保護者、地域が共有し「ありがとう」を合言葉に、地域人材や自然環境、文化や伝統を活かし、地域学校協働活動を行っている。
	川辺町	川辺町小中学校再編計画に向けた歩み	小中学校の再編について、町内の3小1中を統合するための議論を進め、具体が整いつつある。2030年義務教育学校開校に向けた計画に取り組んでいる。
	七宗町	学校統合に伴うコミュニティ・スクールの再編	二つの学校区にあるコミュニティ・スクールを学校統合を機会に全町で1つにまとめることを通して、各種組織の連携強化と事業内容の見直しで、更なる地域の活力の伸長を目指す。
	八百津町	人道教育推進事業 （11年目）	杉原千畝氏の業績を学ぶ学校への支援や町民への人権講演会の提供。今年度は竹下景子氏の朗読会とパネラーに中学生を含む討論会を行った。
	白川町	白川町教職員指導力向上プロジェクト（2年目）	自ら学び続ける教職員集団を育成するために、町内の小中学校の教職員ネットワークを構築し、志をもった教員が指導力向上のための実践交流する場を提供する。
	東白川村	小・中学校教員の兼務 （3年目）	令和9年度の義務教育学校開校を視野に入れ、令和4年度から小・中学校間相互で一部教員の兼務を導入した。双方で専科教員による質の高い授業が行われている。
	御嵩町	地域で支える家庭教育の推進	身近な先輩ママとして、子育てサポーター・ココママ・生涯学習ボランティアを募り、研修会を実施し、家庭教育学級の支援をしていただけるよう体制を整えている。

地区	市町村名	事業名	事業の概要
東	多治見市	わがまち多治見大好き講座	小中学生を対象に、ふるさと多治見の伝統・文化・産業について体験的に学ぶ講座を実施。史跡めぐりや作陶体験等年間10回程度実施し800名程度の参加がある。
	土岐市	教育支援センター (IKOT・いこっと)の開設	不登校支援機能、教育相談・家庭児童相談機能、外国人児童生徒支援機能を有し、悩みや困り感を抱えるこどもたちや保護者の相談を受け支援する機関を開設。
	瑞浪市	教育研究所研究事業 ～授業分析による教師の学びの場～	昭和39年より授業記録に基づく授業分析をとおして指導力向上を目指してきた。近年は、教科の指導法、ICT活用、授業づくり等をテーマに学び合っている。
濃	恵那市	教員修学資金貸付事業	地元教員を多く確保することを目的とし年額48万円を貸付。岐阜県教員となり本拠地を本市とした場合又は講師となった場合、条件により返還の猶予・免除。
	中津川市	すご技中津川プロジェクト	行政、企業、学校が連携して「すご技企業」をリストアップし、義務教育世代の児童生徒を対象にキャリア学習カリキュラムを作成します。
飛 騨	高山市	不登校対策推進事業	主に生活習慣を養う「であい塾」(適応指導教室)と、生活・学習習慣を養い、学力をつける「にじ色」(学びの多様化教室)の役割を明らかにし、その子の居場所を考え支援している。
	飛騨市	作業療法士等の学校派遣	市内の各小中学校へ作業療法士等を派遣し、支援が必要な児童の見立てやの支援の助言を行う。必要に応じて環境整備や発達検査を行い、支援方針の立案を支援する。
	下呂市	部活動の地域展開における民間企業との包括連携協定締結	部活動の地域展開を本格実施に伴い、6月に一般社団法人Club Supportと包括連携協定を締結。スポンサー企業を募り、指導者研修の講師を無償提供してもらった。
	白川村	未来を担う人材育成事業 (5年目)	白川郷の伝統文化を学んだ子ども達の将来の夢を叶える後押しをするため、企業版ふるさと納税を活用し、学業や修行に対する補助、支援を行う。